



令和5年度 第1回
熊本市動植物園マスタープラン推進会議

熊本市動植物園マスタープラン

－ 令和3年度・4年度に関する報告 －

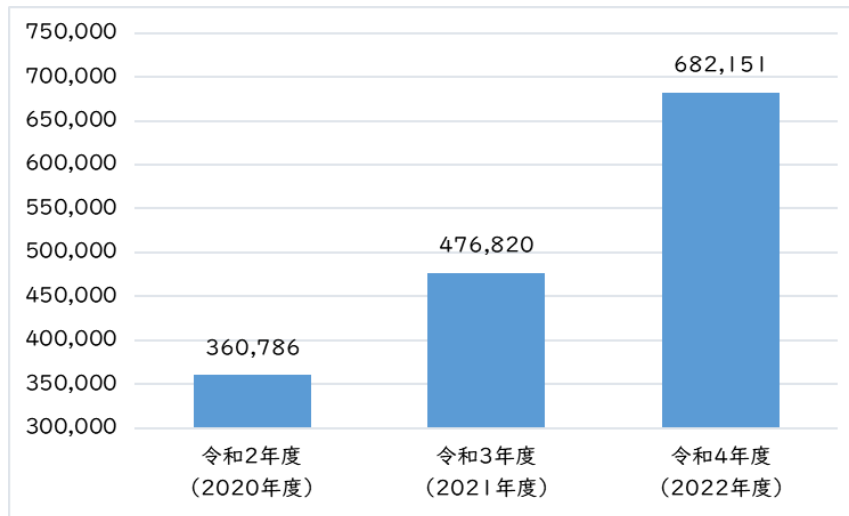
入園者数の状況

成果指標を設定し、成果指標の達成状況を踏まえた課題の検証を行うことで、本計画に掲げる個々の取り組みの進捗管理や計画の見直しにつなげていきます。

目指す来園者数

現在**74万人** ⇒ 開園100周年(2029年)に向けて**85万人**を目指す

【入園者数の推移】



令和3年度
入園者数

476,820人

令和4年度
入園者数

682,151人

【入園者数の分析】

令和3年度は、医療非常事態宣言や熊本市まん延防止宣言をはじめとした、不要不急の外出を控えた影響により約48万人の来園者数にとどまった。令和4年度では、コロナの影響があったものの、都市緑化くまもとフェアの開催、観光需要の回復等により、前年度比43%の増加となった。

① 動植物の展示施設整備

展示方法の改善

- a 体験型や、近くで観察できる展示を目指します。
- b 動植物を一体化した展示に取り組み、生息域を感じる展示を目指します。
- c 動物の福祉に配慮した展示に取り組みます。

令和4年度までの主な取り組み内容

* 体験型の展示

- ✓ VRやYouTube等SNSの活用による情報発信の強化
- ✓ モルモットふれあいガイド（タッチタイム）の実施
- ✓ ふれあい広場の動物の誕生日会を参加型で実施



* 動植物の一体化、生息域を感じる展示

- ✓ 花の休憩所内の温室で動物展示を開始
→ ナマケモノ・鳥類（オウギバト等）・カメ類（ヒョウモンガメ等）
- ✓ ニホンザル舎に緑化植樹を実施
- ✓ かも池内の島でエリマキキツネザルの展示開始
- ✓ イヌワシ・ツル舎設計実施
→ ふるさとの自然エリアでの国内希少種の繁殖・保全・教育を推進する施設を目指す
- ✓ 100周年記念整備サバンナエリアの基本計画策定



* 動物福祉に配慮した展示

〈健康管理への取り組み〉

- ✓ ハズバンダリートレーニングによる効果
→ マサイキリン・クロサイ・ホッキョクグマ・ユキヒョウ・レッサーパンダ・マレーグマ・アナグマの採血及び体重測定が可能となった
- ✓ 暑熱対策（寒冷紗、ミスト、扇風機等）を実施
→ 動物の行動の選択肢をさらに増やすため寝室扉を開放
（アフリカゾウ・マレーグマ・キンシコウ・レッサーパンダ・ホッキョクグマ等）
- ✓ 温室の適正温度の確保（ナマケモノ）

〈環境エンリッチメントの取り組み〉

- ✓ 動物の行動多様化、採食時間の延長を目的としたフィーダー・遊具の設置
- ✓ クロサイ舎へ黒土や赤土を搬入・整備
- ✓ マレーグマの運動場をコンクリートからウッドチップに変更
- ✓ ゾウの寝室の床材について検討・改善



「驚きと新たな発見！いきものミュージアム」の取り組み内容

② 種の保存・調査研究の推進

- ・コレクションプランを策定し、動植物の収集・繁殖・増殖に取り組みます。
- ・絶滅の恐れのある動植物種の保存に取り組みます。
- ・専門知識を持つ職員の育成、動植物の調査研究を推進します。

〔令和4年度までの主な取り組み内容〕

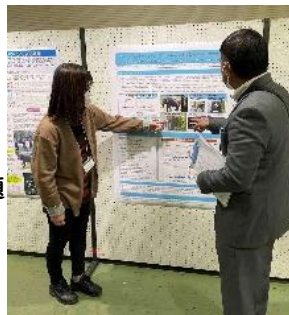
* 種の保存

- ✓ 保全・繁殖を目的として、以下の動物種の新規個体の導入、飼育環境の整備を実施
マサイキリン・レッサーパンダ・タンチョウ・
カンムリセイルン・ニホンイヌワシ
- ✓ チンパンジーとスダスローロリスの繁殖に成功
- ✓ クロサイの環境整備、繁殖への取り組み
- ✓ レッサーパンダの交尾確認



* 調査研究事業

- ✓ 大学等との連携による調査研究の推進
「動物福祉」評価研究：飼育環境改善に伴う動物行動評価
・屠体給餌によるホッキョクグマとユキヒョウの行動変化：東海大学
・ゾウにおける床材効果、データロガーを用いた行動把握：明治大学
「種の保存」：希少動物の繁殖に係る研究
・クロサイの発情周期に伴うホルモン動態調査：岐阜大学
・ゾウの薬剤投与によるホルモン動態への影響：岐阜大学
・クロサイの繁殖に向けた取り組み：東海大学
- ✓ 東海大学と「研究及び教育の連携に関する覚書」を締結
- ✓ 研究発表
・日動水九州沖縄地区ブロック飼育技術者研究会
「チンパンジー親子のモート型屋外放飼場への馴致」等4題
・京都大と全国の動物園・水族館の連携シンポジウム
(動物園水族館大学)
「レッサーパンダの新規導入から繁殖への取り組み」等3題
・ゾウ会議にて1題



③ 自然環境教育の推進

- ・現在の動物資料館を、希少動植物の調査・研究を行うとともに、学習の場を提供する「いきもの学習センター」へ見直します。
- ・学習プログラムの整備を強化します。

〔令和4年度までの主な取り組み内容〕

* 「水辺のインフォメーションセンター」

- ✓ 江津湖に生息する魚類飼育及び展示を開始
(魚類 35種 約200匹)
- ✓ ニッポンバラタナゴの遺伝子解析
→ 外来種との交雑が問題視されているが、
遺伝子解析により飼育個体が純粋種と判明
- ✓ 高校生ボランティアによる生き物ガイドの実施



* 「いきもの学習センター」

- ✓ 生物多様性・環境保全に関する情報を発信
- ✓ 熊本大学医学部と連携し、特異な生態をもつ
デバネズミ類の導入準備
- ✓ 国内希少種ミヤコカナヘビの導入準備
- ✓ 国内希少種トサシミズサンショウウオの
繁殖への取り組み



* 学習プログラムの整備

■ 実施したプログラム

- ✓ 環境エンリッチメントに関する参加体験学習
- ✓ 水辺エリアを活用した生物多様性学習
- ✓ 熊本県立大学や教育センターと連携して
開発したデジタル教育ツールの一般公開
- ✓ ICTを活用したモデル的取組の実施
(泉ヶ丘小学校の調べ学習「動物はかせ」)

■ 整備に向けた取り組み

- ✓ 学習プログラム集の策定
- ✓ 新規参加体験型環境教育プログラムの試行



「江津湖との調和。水辺動植物園を再び」の取り組み内容

① 「水辺のインフォメーションセンター」の設置

- ・現在の動物資料館で展示している、江津湖の水生生物を展示します。
- ・湧水やホテルのビューポイント、スイゼンジノリ特別保護区など、自然に関する一体的な情報発信を行います。

令和4年度までの主な取り組み内容

- ✓ 江津湖の水生生物をアクアリウムで展示
- ✓ 江津湖の成り立ちや歴史文化をが学べるエリアや多目的ルームを設置
→ 自然観察会等の市民の活動の場としても開放
- ✓ 生物多様性に関する学びを深める目的で、江津湖アクアリウムにて江津湖水系の魚類等や国内種・外来種に関するガイドを実施

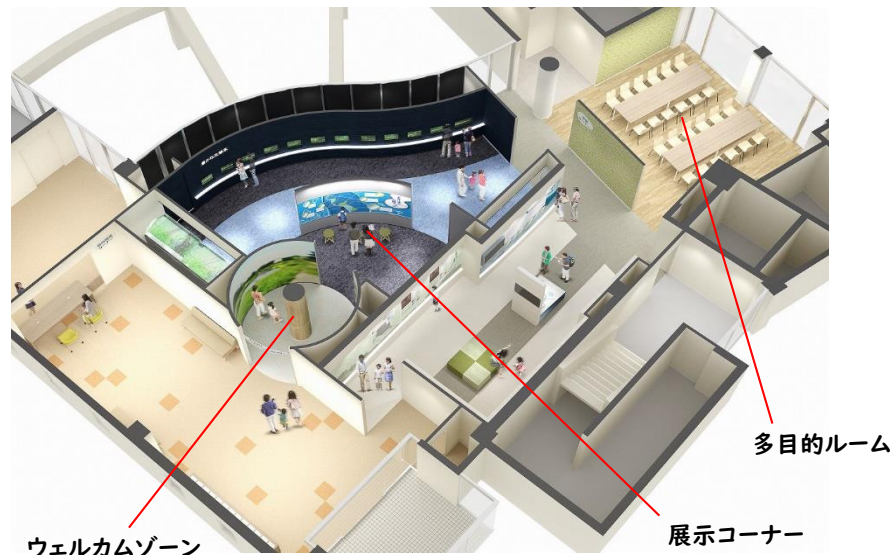


② 最高の景色を満喫できるビューポイントの設置

- ・江津湖にもっとも近い南側エリアにおいて、ビューポイントをつくるため、デッキの設置や生垣見本園の整理を行います。
- ・野生に棲むいきものの観察ができるような水辺空間を創出します。

令和4年度までの主な取り組み内容

- ✓ 江津湖の眺望を満喫することができる絶景のビュースポットとして、南門付近に展望デッキを整備
- ✓ 令和5年3月には初の試みとして、さくらまつり（夜桜ライトアップ）を実施



都市緑化フェア（昼間のデッキ周辺）の様子



さくらまつり（夜間のデッキ周辺）の様子



「優しさと魅力あふれる動植物園づくり」の取り組み内容

① 正面ゲートリニューアル

- ・動植物園のシンボルとして、正面ゲートのリニューアルを行います。
- ・リニューアルに際しては、サービス及び利便性向上を検討し、より優しく、魅力あふれる正面ゲートを目指します。

令和4年度までの主な取り組み内容

- ✓ R3年度 建設工事・リニューアルオープン
- ✓ R4年度 正門内部にて来園者が楽しめるための仕掛け・装飾を実施



③ 来園者へ魅力あふれる空間の提供

- ・快適性・娯楽性を兼ね備えた体験型涼場づくりを行います。
- ・夜間開園に対応した園内照明の改修をします。
- ・様々な年代の来園者が楽しめる遊戯施設を導入します。

令和4年度までの主な取り組み内容

- ✓ 遊戯施設の改修・導入（レトロゲーム機、メロディペット）
- ✓ 各施設内の照明をLED化



② 来園者に優しい施設整備の推進

- ・ベビーカーや車椅子、高齢者に優しい園路を整備します。
- ・誰もがわかりやすい案内サインへの改修を行います。
- ・夏の日差しが木陰で遮られた休憩スペースやベンチを設置します。
- ・洋式化をはじめ、誰もが使いやすいトイレへ改修します。

令和4年度までの主な取り組み内容

- ✓ 園路整備
- ✓ 休憩スペース・ベンチ設置
- ✓ 案内サイン改修
- ✓ トイレ改修・多様なニーズに対応した備品整備



新設ベンチで花見をされている様子



子供たちが描いたサイン



取り外し可能な子供用便器の設置



各個室にサンタリーボックス設置

「愛され続けるための運営体制の強化」の取り組み内容

① 歳入の確保

- これまで掲げた取り組みにより、更に魅力ある空間を創出することで、更なる集客力の向上と来園者数の増加を図ります。
- 魅力ある遊戯施設の導入により使用料の増収を図ります。
- 新たな来園者の獲得に向けた広報戦略やイベント編成を実施します。
- 今後の社会経済情勢の変化等を踏まえ、適正な受益者負担の見直しに取り組みます。

令和4年度までの主な取り組み内容

* 新たな来園者の獲得に向けた広報

- ✓ 多種多様な動植物の投稿をすることでSNSフォロワーが増加

SNS	R3.3	R4.3	R5.3
Twitter	8,884人	13,228人	14,920人
Instagram	7,726人	11,000人	12,431人

- ✓ 公式YouTube:KumamotoZooChannelで動画配信(101本)
- ✓ 都市緑化くまもとフェアを契機に、植物に関するSNSの強化

② 更なる歳出削減

- 燃料光熱水費をはじめとする、管理コストの削減に取り組みます。
- 平成30年度(2018年度)に策定した長寿命化計画をもとに、施設の延命化や、ライフサイクルコストの低減と費用の平準化を図ります。

令和4年度までの主な取り組み内容

* 燃料光熱水費の削減

- ✓ 燃料光熱水費を削減を目指し、空調改修やLED照明の導入

* 園内施設の長寿命化対策

- ✓ 長寿命化計画に基づき、老朽化した空調設備の改修やチンパンジー愛ランドのデッキ改修、ゾウ舎油圧扉改修を実施

③ ボランティア制度の見直し

- イベント支援やハーブ園管理が中心の、現在のボランティア制度を見直し、動物ガイドや植物管理などの担い手育成と、市民参画機会の拡充に取り組みます。

令和4年度までの主な取り組み内容

* ボランティア担い手の育成

- ✓ 動物のガイドや植物の管理に関してボランティアの勉強会を実施
ex)ゾウの訓練ガイド、お魚ガイド、バラの剪定

④ 動物サポーター制度の見直し

- 動物サポーター制度を見直し、施設整備に活用するための基金の設置を検討します。

令和4年度までの主な取り組み内容

* 熊本市動植物園開園100周年記念サポーター

- ✓ 継続的な周知により令和3年度～4年度にかけて、寄付者数・寄付額共に増加

R3	R4
2,000件	2,987件
12,353,005円	15,191,609円

* 企業へのアプローチ

- ✓ 企業向けPR動画(作成中)
→ 動植物園におけるSDGs推進と企業の社会貢献のマッチングを目的としたプロモーション動画



コレクションプラン（案）

－ 種の追加・変更について－

推進種

調査・検討種から推進種に変更したもの、新たに推進種として導入する方針が決まったもの

前回(9種)

チンパンジー

スダスローロリス

シセンレッサーパンダ

クロサイ

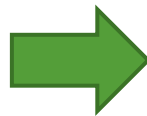
マサイキリン

ニホンイヌワシ

オウギバト

タンチョウ

トサシミズサンショウウオ



今回(18種)

チンパンジー

アマミトゲネズミ

スダスローロリス

ニホンイヌワシ

マンドリル

オウギバト

シセンレッサーパンダ

タンチョウ

クロサイ

マナヅル

マサイキリン

トサシミズサンショウウオ

シロオリックス

ミヤコカナヘビ

ハダカデバネズミ

ニッポンバラタナゴ

ダマラランドデバネズミ

セボシタビラ

推進種

マンドリル シロオリックス			サバンナエリア新設に伴い導入予定 日本動物園水族館協会 管理種
ハダカデバネズミ ダマラランドデバネズミ			熊本大学医学部との共同研究として導入
アマミトゲネズミ ミヤコカナヘビ			国内希少動植物種 日本動物園水族館協会 管理種
マナヅル			日本動物園水族館協会 管理種
ニッポンバラタナゴ セボシタビラ			国内希少動植物種 日本動物園水族館協会 管理種

減少・調整種

将来的に減少・調整する動物種

前回（6種）

シロダマジカ

オタリア

シロエリオオヅル
(他園へ搬出済)

アカコンゴウインコ

ヨウム
(他園へ搬出済)

カミツキガメ



今回（11種）

マレーグマ

アオボウシインコ

シロダマジカ

キバタン

オタリア

カミツキガメ

アカコンゴウインコ

アフリカニシキヘビ

ダチョウ

メガネカイマン

カナダガン

減少・調整種

マレーグマ			日本動物園水族館協会 管理種 他園での繁殖のため搬出
ダチョウ			サバンナエリア新設に伴い、展示終了 他園への搬出予定
アフリカニシキヘビ メガネカイマン			サバンナエリア新設に伴い、展示終了 他園への搬出予定
カナダガン			現飼育個体の終生飼養 または他園への搬出
アオボウシインコ キバタン			バックヤード飼育 現飼育個体の終生飼養 または他園への搬出

調査・検討種

今後、導入の意義・可能性を検討する種

前回（10種）

マンドリル (推進種へ)	ハダカデバネズミ (推進種へ)
シロオリックス (推進種へ)	オオサンショウウオ
マレーバク	サンショウウオ類 (ソボ、アマクサ、 ベッコウ)
アカウシ	ニッポンバラタナゴ (推進種へ)
アマミトゲネズミ (推進種へ)	セボシタビラ (推進種へ)



今回（18種）

スマトラトラ	ニホンモモンガ
スナネコ	キュウシュウノウサギ
マヌルネコ	ルリカケス
コツメカワウソ	アカガシラカラスバト
マレーバク	ミゾゴイ
アカウシ	ライチョウ
ニホンカモシカ	コフラミンゴ
グレービーシマウマ	オオサンショウウオ
ニホンリス	サンショウウオ類 (ソボ、アマクサ、ベッ コウ)

調査・検討種

スマトラトラ	WAZA(世界動物園水族館協会)における国際種管理計画(GSMP)種であり、トラ舎改修検討の際に検討
スナネコ マヌルネコ	国内での繁殖維持のため、飼育を検討
コツメカワウソ	温室内池での飼育検討
ニホンカモシカ	県内で生息確認、県自然保護課から傷病獣の域外保全の打診あり
グレービーシマウマ	サバンナエリア新設に伴い、国内での管理計画を確認し検討
ニホンリス ニホンモモンガ キュウシュウノウサギ	ふるさとの自然エリアでの飼育を検討
ルリカケス アカガシラカラスバト ミゾゴイ	分散飼育のため新規園館での飼育を望まれている 環境省国内希少種(アカガシラカラスバト) JAZA管理種(ルリカケス)、登録種(アカガシラカラスバト、ミゾゴイ)
ライチョウ	国内希少種、九州には生息していないが、域外保全に参加することで、保全啓発の効果も高い
コフラミンゴ	アフリカエリアでのフラミンゴ飼育種として導入を検討

調査・検討種

※植物についても『調査・検討種』を新たに追加

前 回 (計8種)

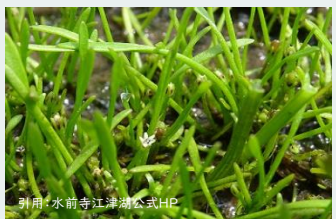
地域固有種

スイゼンジノリ
ヒゴタイ
ヒラモ
ワンドスゲ

伝統園芸種

肥後芍薬
肥後椿
肥後花菖蒲
肥後山茶花



名称	レッドリスト評価	生息域
オニバス  引用: 熊本県レッドリスト2019	熊本県: 絶滅危惧ⅠA類 (CR) 環境省: 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	熊本市、山鹿市 ・やや富栄養化したため池 ・流れのゆるやかな水路
ミズアオイ  引用: 水前寺江津湖公式HP	熊本県: 絶滅危惧ⅠA類 (CR) 環境省: 準絶滅危惧 (NT)	熊本市、益城町 ・平地の水湿地
ツクシスミレ  引用: 熊本大学薬学部HP	熊本県: 絶滅危惧ⅠA類 (CR) 環境省: -	熊本市、人吉市、天草市 ・湿り気の多い石垣、平地
キタミソウ  引用: 水前寺江津湖公式HP	熊本県: 絶滅危惧ⅠB類 (EN) 環境省: 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	熊本市 (江津湖とその周辺) ・日当たりのいい湖岸 ・水路沿いの湿地

学習プログラム集の策定

学習プログラム集の活用

学習プログラム集

目的 保育園、幼稚園、小・中・高等学校、子ども会、教育関係団体に活用してもらうための環境教育プログラム集

特徴

- ① 学ぶ方法
- ② 学ぶ材料
- ③ 学び

を組み合わせ、受講者が望む学習プログラムをカスタマイズできる

配布 熊本市内の小中学校134校に配布、HPで公開（4月中）

受付 令和5年5月9日から申し込み受付

